

「あすなろ小箱」

～佐伯支援発：明日の成長へ向けての支援の
小さなヒント集～

大分県立佐伯支援学校
『教育相談だより』
教育相談部 第3号
平成29年10月11日

2学期がはじまり、1ヶ月が経とうとしています。これから、本校では、風の子まつりや社会見学、交流学習と楽しいことがいっぱいです。それを待っているかのように、子どもたちの元気な声がきこえてきます。今回は、校内での教育相談部の取り組みを紹介します。



教育相談ウィーク

全校児童生徒を対象に、年に3回個人面談を実施しています。

質問のポイントは①「学校や友だちとの関わりの中で、困っていることや悩みはないですか？」

②「あなたの周りの友だちで、困ったり悩んだりしている人はいませんか？」

③「家のことで、困っていることや悩んでいることはないですか？」



が、主ですが、児童生徒の実態にあわせて、形式にこだわらず、相談しやすい（打ち明けやすい）関係作りを大切にし、相談しやすい（打ち明けやすい）環境下での相談を心がけています。また、面談をする中で、児童生徒が抱える問題や困りに気づき、それを教師が受け止め、早期に対応して、楽しく生き生きと学校生活が送れるように支援していきます。

ケース会議

児童生徒の気になっていることや心配事の解決にむけて、注意や配慮が必要な指導や支援のあり方について、特別支援教育についての有識者や対象となる児童生徒と関わりがある機関の方など外部より招いて実施しています。2時間程度の授業観察後、関係する教師で情報交換をします。その中で、「視覚的手段を使い、手順を踏んで考えさせるとよい」「終わったものからチェックしていく」など、通常の授業での支援の仕方、周囲との児童生徒との関わり方やアプローチのかけ方などの助言がいただけました。その、助言をもとに、学部学年で共通理解をし、指導支援を深めていきます。

※そのほか、校内支援会議、子どもを知る会、ほっと相談（保護者の困りなどの相談に応じる）等に、取り組んでいます。

教育相談の希望のある方

大分県立佐伯支援学校

TEL 0972-28-3144

本多宏（特別支援教育コーディネーター）または教頭

まずは、お気軽にお電話ください。



